



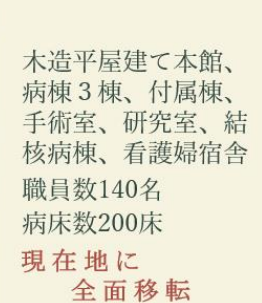




# 救命救急棟建設計画

地域医療の質と緊急対応力を向上させる



日本赤十字社 成田赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

# 成田赤十字病院創立80周年…その先へ

 <p>木造平屋建て本館、病棟3棟、付属棟、手術室、研究室、結核病棟、看護婦宿舍 職員数140名 病床数200床 現在地に 全面移転</p>	 <p>職員数320名 病床数422床 <b>BCD</b>棟増築</p>	 <p>職員数725名 病床数696床 <b>G</b>棟増築</p>	 <p>職員数570名 病床数646床 <b>F</b>棟増築</p>	 <p>職員数934名 病床数734床 2002 <b>MRI</b>棟増築 2024 <b>アミニティ</b>棟増築 2025.3 職員数1,408名 病床数 655床</p>	 <p>海軍病院から日本赤十字社に移管され開設 成田不動尊前の蓬莱閣（旅館）を借家 職員数65名 病床数100床</p>	 <p>旧<b>A</b>棟完成 (2001年解体) 鉄筋コンクリート造 5階建、看護婦宿舍3階建 職員数215名 病床数315床</p>	 <p>旧<b>A</b>棟完成 職員数934名 病床数734床 2002 <b>MRI</b>棟増築 2024 <b>アミニティ</b>棟増築 2025.3 職員数1,408名 病床数 655床</p>
<p>1948</p>	<p>1954</p>	<p>1969</p>	<p>1975</p>	<p>1986</p>	<p>1992</p>	<p>2000</p>	



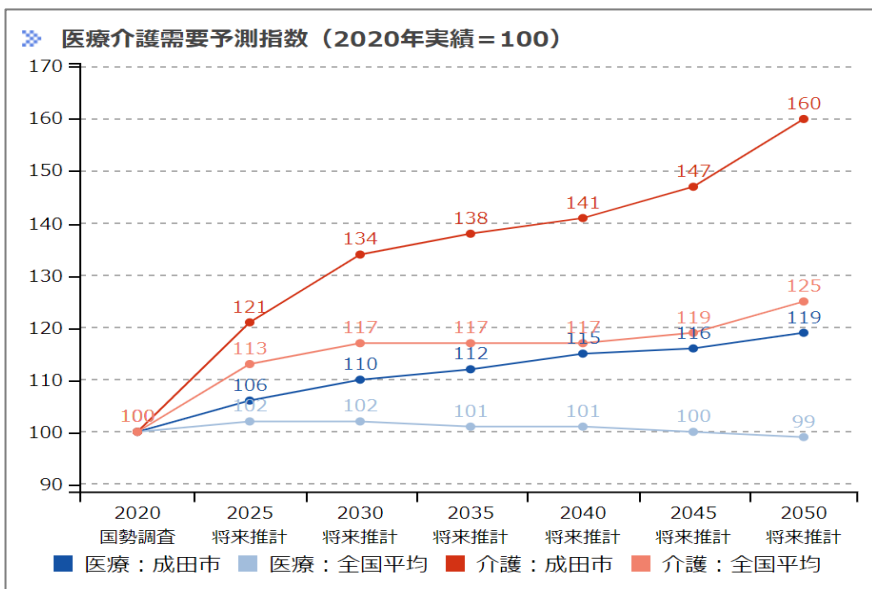
当院は、1948年（昭和23年）に日本医療団成田地方病院（元海軍病院）解散により日本赤十字社へ移管され、成田不動尊前蓬莱閣を借家して開設しました。

その後、1954年（昭和29年）5月に成田不動尊旧病院から現在地に全面移転し、2025年（令和7年）の創立77周年を迎えるまで、増改築を繰り返しつつ地域の医療ニーズに応えるための診療機能の整備・拡充を行ってきました。

そして、2028年（令和10年）には創立80周年を迎えます。

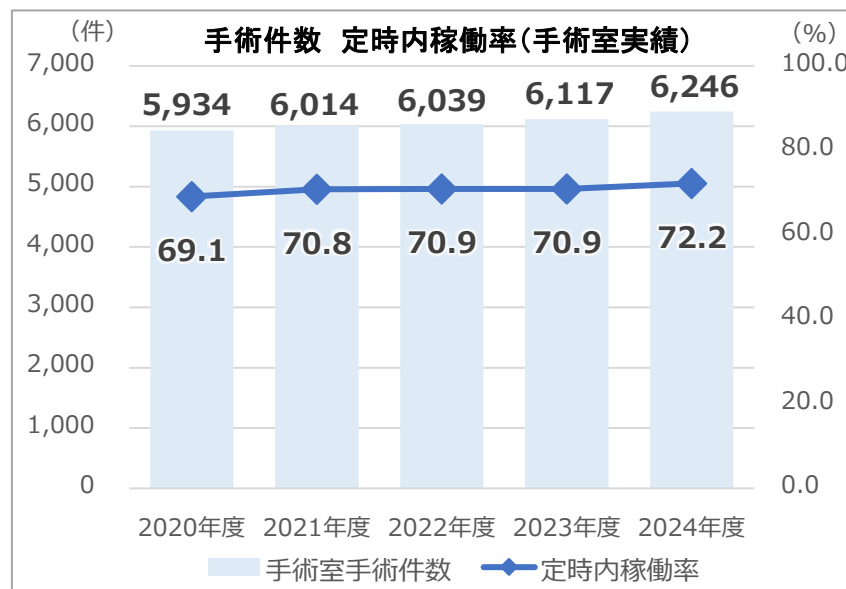
# 現状分析

## ① 成田市医療需要の推計

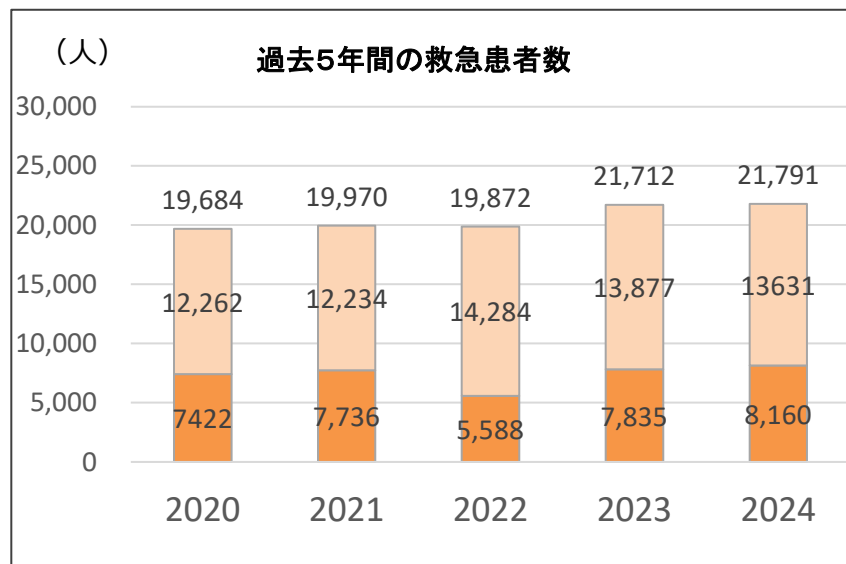


出典：JAMP地域医療情報システム

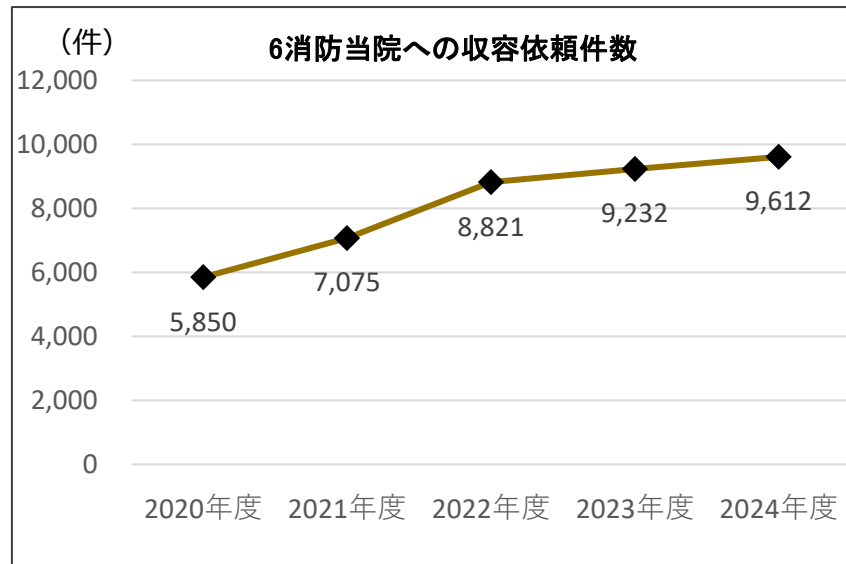
## ② 手術件数 (過去5か年推移)



## ③ 救急患者受入件数 (過去5か年推移)



## ④ 印旛医療圏6消防依頼件数 (過去5か年推移)



### ① 成田市医療需要

⇒成田市は、2050年まで右肩上がりに増加する見込み

### ② 手術件数

⇒現状の手術室9室では件数をさらに増加することは見込めないため増室が必要

### ③ 救急患者受入件数

### ④ 消防機関からの依頼件数

⇒収容依頼件数増加に伴う受入強化を図るためには環境の整備 (救急室の拡張・ICUの増床・手術室の増室) が必要

## 《施設の老朽化・狭隘化への対応、機能強化》

### ◇ 救命救急センターの拡張

- ICU・救急病棟（F棟）は昭和61年竣工（築39年）
  - ・老朽化、狭隘化による医療機器の運用や感染管理が困難
- 救急室
  - ・初療室の狭隘化、救急車進入路・停車スペースの不足

### ◇ 手術室の増室

- ・手術需要に対する手術室の不足、ハイブリッド手術室の整備

### ◇ 災害時の対応機能の強化

- ・多数傷病者（重症者）の治療室（救急室）のスペース不足

### ◇ 地域周産期母子医療センターの強化

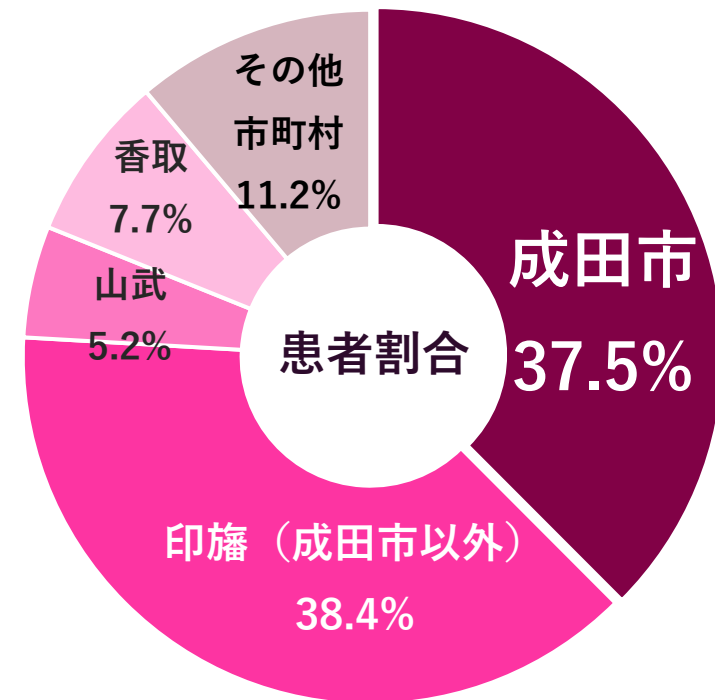
- ・増加する低出生体重児受け入れのためのNICUの狭隘化

現状分析から  
見た施設整備  
の必要性

地域医療のニーズに  
応えるために

# 過去10年間（2015～2024）における救急患者数・患者割合

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計	年平均	患者割合
<b>成田市</b>	8,862	9,070	9,382	9,678	9,259	7,200	7,472	7,205	7,669	7,727	83,524	8,352	37.5%
佐倉市	884	861	868	1,084	1,168	1,092	1,150	1,279	1,384	1,468	11,238	1,124	5.0%
四街道市	136	151	174	224	258	261	326	408	422	402	2,762	276	1.2%
八街市	1,851	1,842	2,097	2,287	2,268	1,882	1,924	1,793	2,091	2,076	20,111	2,011	9.0%
印西市	619	639	787	923	873	928	969	1,006	1,121	1,022	8,887	889	4.0%
白井市	37	30	46	53	70	73	82	93	84	75	643	64	0.3%
富里市	2,736	2,801	2,797	2,903	2,767	2,129	2,082	1,979	2,077	2,093	24,364	2,436	10.9%
酒々井町	886	855	987	960	1,016	845	778	778	930	965	9,000	900	4.0%
栄町	926	901	900	977	891	812	698	720	767	881	8,473	847	3.8%
<b>印旛 計</b>	16,937	17,150	18,038	19,089	18,570	15,222	15,481	15,261	16,545	16,709	169,002	16,900	75.9%
東金市	173	192	185	236	208	187	184	225	228	243	2,061	206	0.9%
山武市	469	434	543	568	510	375	395	389	428	452	4,563	456	2.0%
大網白里市	66	65	73	97	67	71	111	121	96	109	876	88	0.4%
九十九里町	28	30	22	31	34	18	35	42	25	30	295	30	0.1%
芝山町	366	347	359	385	405	256	212	240	276	244	3,090	309	1.4%
横芝光町	87	83	81	86	100	45	72	44	41	52	691	69	0.3%
<b>山武 計</b>	1,189	1,151	1,263	1,403	1,324	952	1,009	1,061	1,094	1,130	11,576	1,158	5.2%
香取市	938	1,130	1,197	1,355	1,338	991	899	959	1,151	1,025	10,983	1,098	4.9%
神崎町	283	344	344	365	401	297	307	261	276	291	3,169	317	1.4%
多古町	257	302	355	365	309	268	226	242	266	294	2,884	288	1.3%
東庄町	22	25	15	19	24	10	12	18	26	13	184	18	0.1%
<b>香取 計</b>	1,500	1,801	1,911	2,104	2,072	1,566	1,444	1,480	1,719	1,623	17,220	1,722	7.7%
その他市町村	2,730	2,675	2,808	2,997	2,898	1,944	2,036	2,070	2,354	2,329	24,841	2,484	11.2%
<b>合計</b>	22,356	22,777	24,020	25,593	24,864	19,684	19,970	19,872	21,712	21,791	222,639	22,264	100.0%



※ その他市町村は、県外の救急患者を含む

# 整備概要

## ア 配置図



研修棟（旧看護専門学校）を解体し、鉄骨造地上4階の救命救急棟を計画  
※築年数は2026年2月現在

## イ 建築物の概要

### □ 建物概要

建設規模	地上4階建て（+塔屋）		
建築面積	1,815㎡	延床面積	7,297.00㎡

### □ 構成・用途

階層	用途	面積	備考
4階	新生児センター 21床 研修医等教育センター	約1,267㎡	NICU9床 GCU12床
	救急病棟（HCU）20床 会議、控室、当直室		
2階	集中治療室（ICU）12床 手術室及び機材室	約2,215㎡	個室7室 前室付き4室 4室 うち1室はHybrid型
	救命救急センター 血管造影室		

凡例：ICU（集中治療室）、HCU（高度治療室）、NICU（新生児集中治療室）、GCU（回復治療室）

## 強化する医療機能

	現在（整備前）	計画（整備後）
救急医療体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急室 270m<sup>2</sup></li> <li>■ I C U 300m<sup>2</sup> 8床</li> <li>■ H C U 699m<sup>2</sup> 22床</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急室 約1,100m<sup>2</sup></li> <li>■ I C U 約950m<sup>2</sup> 12床</li> <li>■ H C U 約950m<sup>2</sup> 20床</li> </ul>
新生児センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ N I C U 9床</li> <li>■ G C U 20床 (実働12床)</li> </ul> } 273m <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ N I C U 9床</li> <li>■ G C U 12床</li> </ul> } 630m <sup>2</sup>
手術機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 手術室 1,199m<sup>2</sup> 9室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 手術室 約2,000m<sup>2</sup> 12室</li> </ul>

### ◇災害時の対応機能の強化

- ・大規模災害対応型の救急室を整備することで、被災者受け入れ機能の強化を図る

## 工程スケジュール (予定)

### 《設計・手続き》

- 基本設計 令和 7年 4月 ~ 12月 (9ヵ月)
- 実施設計 令和 8年 1月 ~ 12月 (12ヵ月)
- 各種申請 令和 9年 4月 ~ 8月 (5ヵ月：営繕・確認申請)
- 公告・入札 令和 9年 9月 ~ 11月 (3ヵ月)

### 《着工》

- 仮方工事 令和 9年12月 ~ 令和10年9月 (10ヵ月)
- 解体工事 令和10年 1月 ~ 令和10年8月 (8ヵ月)
- 建築工事 令和10年10月 ~ 令和12年1月 (15~16ヵ月)
- 竣 工 令和12年 1月

# 救命救急棟建設にかかる事業収支計画

## ア 事業費概算

内 容	金額（税込）
増築棟建設工事費	7,800,000 千円
設備盛替え工事費	500,000 千円
研修棟解体工事費	150,000 千円
設計監理費	300,000 千円
医療機器等費用	1,150,000 千円
初度調弁費用（備品関係）	100,000 千円
<b>合計</b>	<b>10,000,000 千円</b>

## イ 財 源

内 容
自己資金
借入金 （病院建物建設資金）
補助金（千葉県）
補助金 （成田市及び近隣市町）

（2026年2月現在）

## 今後の改修計画（令和10年～令和15年）

内 容	実施予定年
災害救護倉庫建設	令和10年
内視鏡室移設・拡張	令和12年
NICU跡地改修（産科・ME室）	令和12年
研修医室跡地改修	令和12年
精神科外来移設	令和13年
リハビリテーション科・看護部移設	令和13年
管理棟建設（医局・事務・ヘリポート）	令和14年
小児科外来移設	令和14年
BCD棟解体（築58年）	令和15年

（2026年2月現在）

# 建設に伴う効果

# 地域医療の充実

## ● 三次救急受け入れ体制の強化

救急室・ICUの拡充、救急病棟の機能の充実により、三次救急の受け入れ体制が強化され、重症患者への迅速かつ高度な対応が可能になります。

## ● 地域周産期母子医療センターの強化

新生児センターの機能拡充でハイリスク妊婦や低出生体重児への対応力が向上し安全性が増します。



## ● 手術室の拡充&ハイブリッド手術室の整備

手術室の増室により手術待機患者の削減及び手術が必要な紹介患者の受け入れ能力が向上します。

また、ハイブリッド手術室の整備により循環器や整形外科などの高度手術が円滑に実施できる体制が確立されます。

## ● 地域医療の質向上

これらの機能強化は地域住民に安心できる医療環境を提供し地域全体の医療水準を引き上げます。



## 人材育成への効果

### ● 専門的な研修環境の充実

救命救急棟には研修教育センターが設置され、専門分野での実践的な研修が充実します。

### ● 職場環境の改善

合理的な動線設計と休養スペースの確保により、働きやすい環境が整い職員の定着率が向上します。

### ● 医療レベルの向上

充実した症例経験を積む環境により、専門医資格取得を目指す医師の能力が向上します。

### ● 地域医療の安定化

人材育成の取り組みは、地域医療の持続的な提供体制の安定に貢献します。

# 地域社会への効果

## ● 災害対応力の向上

災害対応型救急室の整備により、災害等による多数傷病者発生時の受け入れ体制が向上します。

## ● 感染症対応力の向上

感染症患者受け入れ機能の整備により、感染症への対応力が向上し、新興感染症の発生やパンデミック時にも安心安全な医療提供が可能となります。

## ● 地域医療連携の効率化

病診連携や病病連携が円滑化し、地域医療の効率化が進みます。

## ● 地域医療水準と生活の質の向上

地域全体の医療水準と生活の質の向上により、地域社会の信頼関係構築に寄与します。

## ● 地域住民の安心感の向上

これらの取り組みが地域の安心感を高め、医療の持続可能性を確保します。



# 行政・地域の関係機関との連携の深化

## ● 成田市、近隣市町の医療機関との連携

成田の市民病院的な病院として、成田市内をはじめとした地域の医療機関と連携して地域循環型の医療の実現に寄与します。

## ● 消防機関との連携

受け入れ体制の充実強化により、救急隊との連携がさらに密になり、地域の救急医療体制が向上します。

## ● 千葉県との連携

災害拠点病院としての機能が充実し、千葉県との連携体制が強化されます。

## ● 保健所・検疫所との連携

感染症受け入れ機能が向上し、保健所・検疫所との連携体制が強化されることで、地域の感染防止対策に寄与し、新興感染症等の発生時には迅速かつ円滑に対応できます。

これらの連携により、地域医療体制の強化、災害対応力の向上、感染症流行時の迅速対応が期待されます。

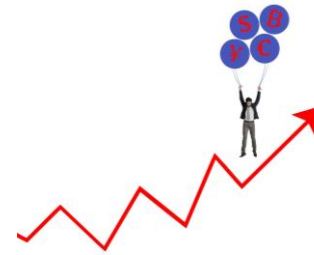
行政・関係機関との連携は、病院の使命を果たすために不可欠な要素です。

# その他、地域への貢献

将来にわたり、地域社会への  
貢献が期待できます



**エアポートシティ構想への寄与**  
医療機能の充実が成田空港の機能拡充  
に伴う人口増加に対応します。



## 地域経済の活性化

約100億円の建設投資と雇用増加によ  
り地域経済の発展が見込めます。

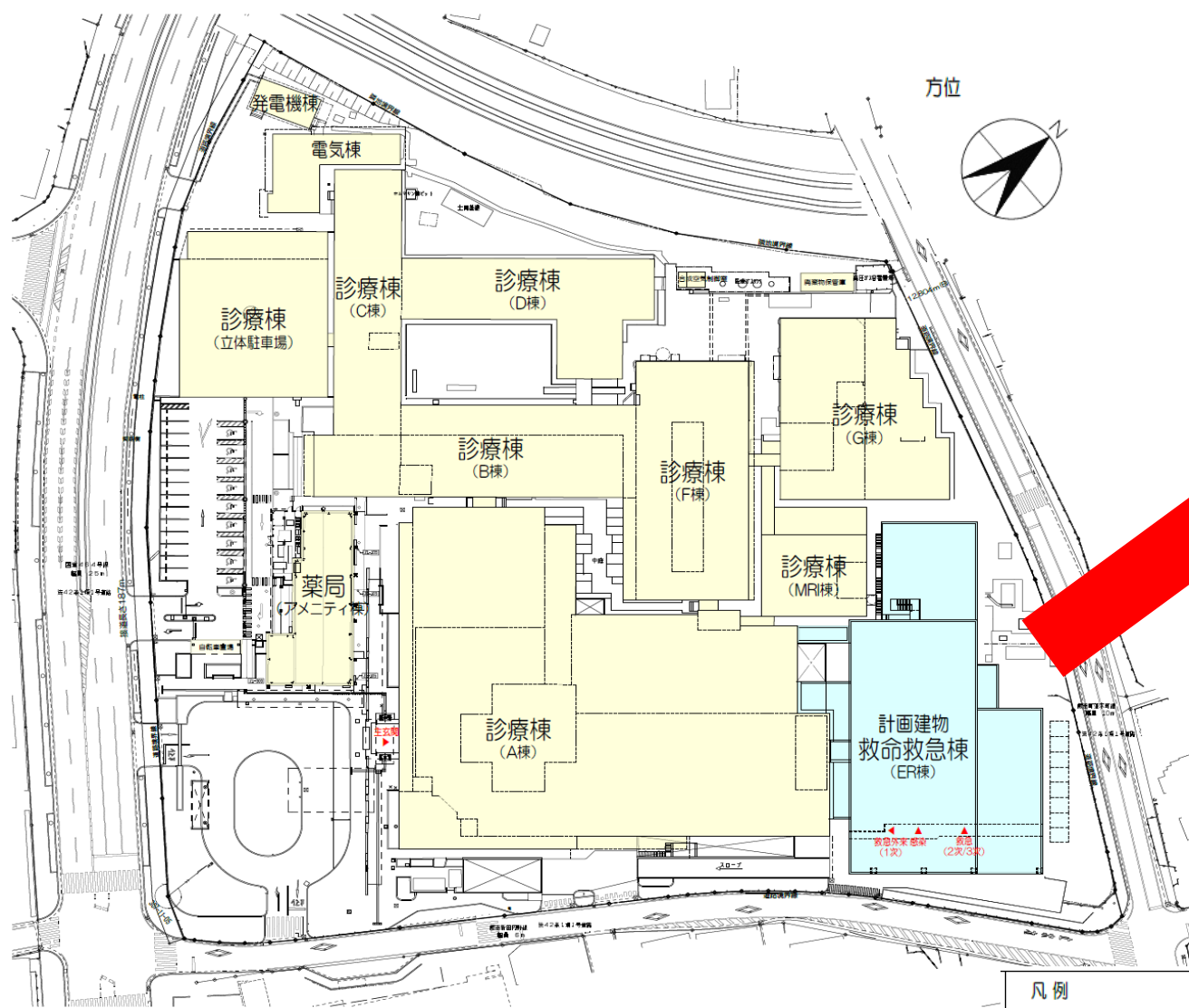


**雇用機会と持続的発展への寄与**  
医療従事者の増加と研修強化が地域の  
雇用機会と持続的発展に寄与します。

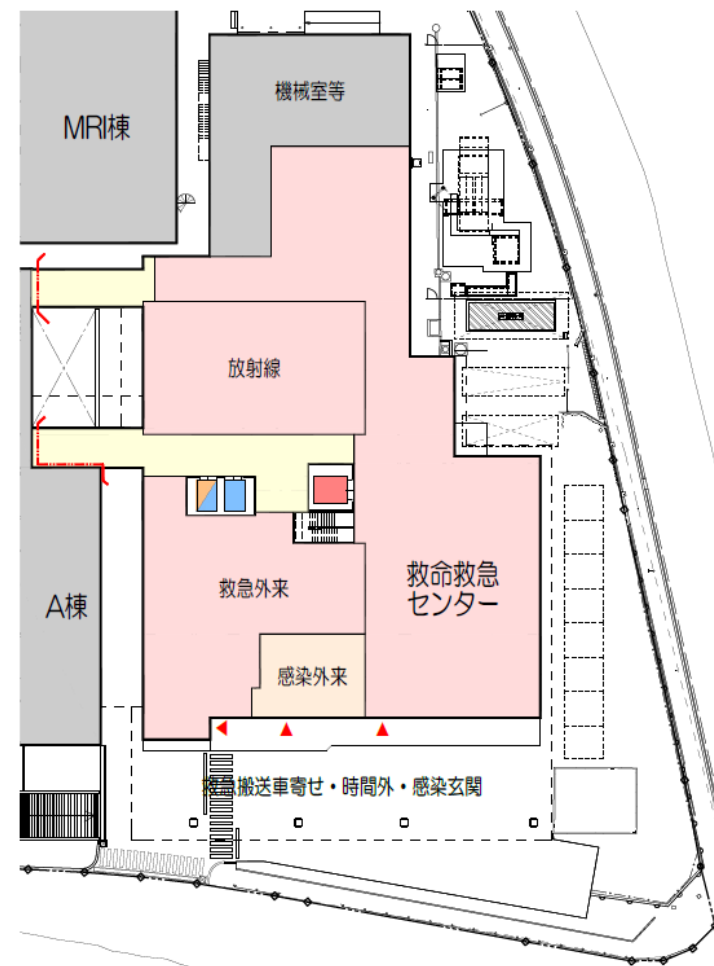
**図面**

**基本設計終了時点  
(2025.12.18)**

# 成田赤十字病院 施設整備事業（救命救急棟）



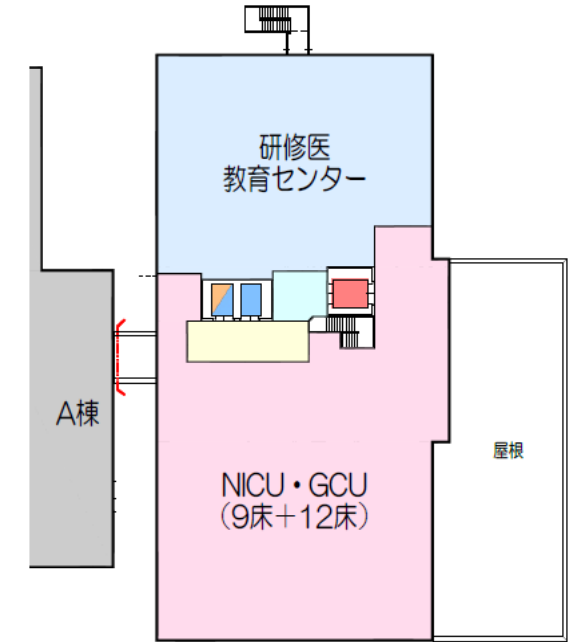
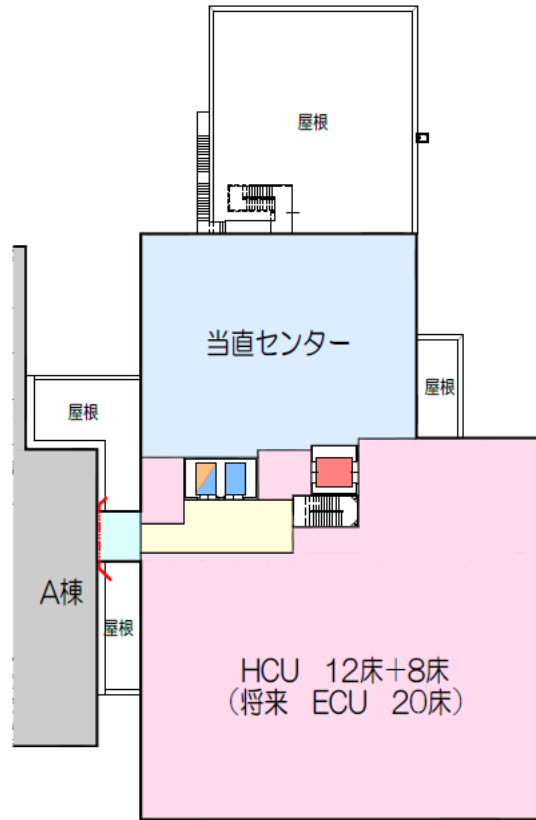
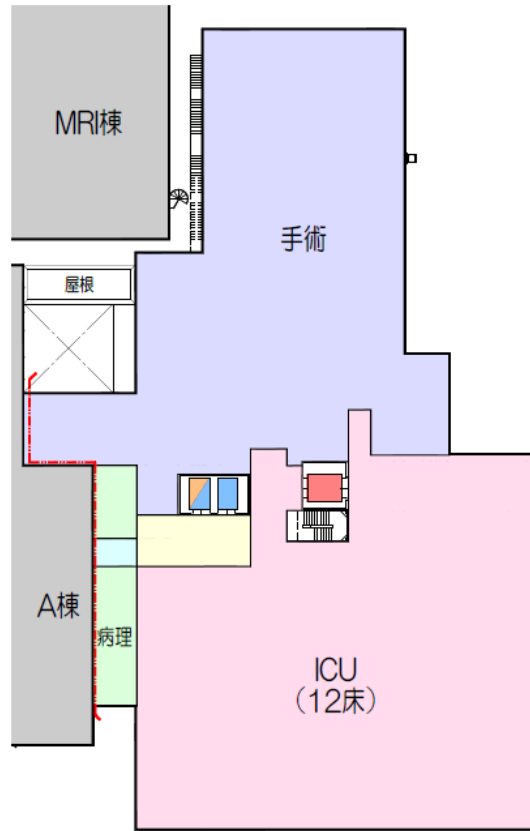
配置図



1階平面図

凡例			
■ (Yellow)	: 既存施設	■ (Blue)	: 一般兼用・寝台EV
■ (Cyan)	: 計画建物	■ (Light Blue)	: 寝台・供給EV
■ (Pink)	: 救命救急センター	■ (Light Green)	: 放射線・検査
■ (Light Pink)	: 感染外来	■ (Grey)	: 機械室等
■ (Light Purple)	: ICU・HCU	■ (Light Yellow)	: 廊下 (患者用)
■ (Light Blue)	: 手術	■ (Light Cyan)	: 廊下 (スタッフ用)
■ (Red)	: 救急EV		

# 成田赤十字病院 施設整備事業（救命救急棟）



2階平面図

3階平面図

4階平面図

凡例

: 既存施設	: 一般乗用・寝台EV	: 救命救急センター	: ICU・HCU	: 廊下（患者用）
: 計画建物	: 寝台・供給EV	: 感染外来	: 手術	: 廊下（スタッフ用）
	: 救急EV	: 放射線・検査	: 機械室等	

スローガン  
地域に必要・信頼・期待される  
赤十字病院になるための機能を強化する

 日本赤十字社 成田赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

Road to  80th

成田赤十字病院は2028年に創立80周年を迎えます



日本赤十字社  
創立150周年

この地で継続して  
必要な医療を提供し  
将来にわたり  
地域医療を支えてまいります